

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより193号
R2. 2. 27



笑顔の人はA・Sさんです。笑顔の理由は、高校でも部活動を続けて心と体を鍛え、学校行事を盛り上げて楽しみ、将来に向けた資格取得に取り組みたいと決めたからです。面接では、普段から使っている敬語を意識し、自分の考えをすらすらと言えるよう練習

笑顔の人



しました。また、他の生徒に出遅れないよう学習も続けています。文武両道を校是としている名護高校普通科に内定している彼は、毎日の授業の予習・復習を頑張っています。学習以外では、他の掃除も手伝うようにしています。10年後の自分は、県外で仕事に就いているそうです。広島大学理学療法学専攻を密かに狙っていて、健康増進やスポーツ障がいに対応した運動療法、物理療法、日常生活指導を通して人々の生活向上のために役立ちたいと考えています。羽地中学校3年間で最も想い出に残っているのは、合唱コンクールだという。どの学級よりも早く練習に取り組み、グラブは取れなかったが、学級の絆をより深められたと語る。どんな時でも、優しく支えていける人になりたいと、照れながら語る彼の心は、どこまでも青空が広がっているのかも知れない。



笑顔の人は、帝京長岡高校サッカー部のチームTシャツを着たO・Sさんだ。総合コースに内定している彼がめざしているのは、高校サッカー日本一だ。本校を選んだ理由も自分の将来の夢を叶えるためと言い切る。プロで通用するサッカーだ。兎に角、サッカーが大好きなのだ。サッカーの魅力を知っていると、手以外の全身でプレーする競技、一人ではプレー出来ない、みんなで協力して得点をあげる魅力的なスポーツ、と返ってくる。サッカーに心底惚れていると言った印象だ。当然、高校でもサッカーを愛し続けていくだろう。



自分らしく生きたい彼がずっと取り組んでいることは、ストレッチと体幹トレーニングだ。体力づくりを欠かさず取り組み、羽地中学校に貢献するために、自分がやるべき全てをしようと語る。今はみんなの思い出づくりだ。高校では寮生活で1名〜3名の部屋で生活する。国語、数学、英語の課題も入学前に提出が義務づけられている。親元を離れた地で自立した学校生活を送ることになるが、それを支えてくれるのは、みんなの笑顔だそう。Sさんの夢は大きく、世界を背負って立つくらい覚悟だ。新たな地でゴールをめざして、今、彼のドリブルは開始する。